

令和6年度（令和5年度決算）

みやき町教育委員会 事務事業評価報告書

みやき町教育委員会

令和6年度（令和5年度決算）事務事業評価に係る事業一覧表

【学校教育課】

事業名	ページ数
○ 学校施設改修事業	1
○ 理科教育設備整備事業	2
○ 外国語指導助手配置業務事業	3
○ 夢の教室事業	4
○ スクリーニングシステム事業	5
○ 教育委員会活動事業	6
○ 特別支援教育支援員配置事業	7
○ スクール・サポート・スタッフ事業	8
○ スクールカウンセラー事業	9
○ スクールソーシャルワーカー事業	10
○ 学力向上支援体制確立対策事業	11
○ ICT支援体制確立対策事業	12
○ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	13
○ 育英資金貸付基金事業	14
○ 学校給食費補助事業	15
○ 義務教育施設整備事業	16
○ 学校給食センター事業	17

【社会教育課】

事業名	ページ数
○ 青少年健全育成事業	18
○ まちづくりいきいき女性クラブ事業	19
○ 放課後子ども教室事業	20
○ 生涯学習事業	21
○ 図書館事業	22
○ 文化財保護事業	23
○ 社会教育施設整備事業	24
○ 令和6年度SAGA2024国民スポーツ大会事業	25
○ 各種スポーツ大会等開催事業	26
○ 社会体育施設整備事業	27

事業名	学校施設改修事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
				費目		小学校費・中学校費		
事業費 (千円)	101,906	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							101,906	
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進						
	主要施策	学校施設・設備の充実						
事業の内容等	学校施設の老朽化等に対し改修を行う。							
事業の実績等	【中原小学校】 ①1F廊下湿気予防シート張替工事 1,754,500円 ②教室電気設備工事 8,093,800円 ③空調設備設置工事 6,812,300円 ④遊具改修工事 1,232,000円 ⑤理科室実験機取替工事 4,732,090円 ⑥暖房器具撤去工事 4,202,000円 ⑦仕切りカーテン取付工事 506,000円 ⑧看板、表示板改修工事 286,000円 【北茂安小学校】 ⑨区分開閉器・継電器交換工事 737,000円 ⑩教室用遮光カーテン取付工事 569,800円 ⑫音楽室床張替工事 1,529,000円 【三根東小学校】 ⑬学習室空調設置工事 3,077,800円 ⑭プログラムチャイム更新工事 423,500円 ⑮東渡り廊下段差解消工事 319,000円 【三根西小学校】 ⑯プール更衣室改修工事 1,786,400円 ⑰校内インターホン更新工事 1,925,000円 ⑱カーテン取替工事 396,000円 ⑲体育館ステージ階段手摺取付工事 40,700円 ⑳非常階段水抜き穴あけ工事 66,000円 ㉑体育館横側溝設置工事 156,200円 ㉒家庭科室洗濯機用水栓増設工事 24,750円 小学校計 38,669,840円				【中原中学校】 美術室及び視聴覚室 空調設備設置工事 5,836,600円 南校舎・北校舎階段手摺取付工事 638,000円 LL教室改修工事 858,000円 防草シート設置工事 (グラント南側法面傾斜地) 1,056,000円 【北茂安中学校】 電柱・キュービクル改修工事 2,640,000円 美術室空調設備設置工事 6,118,200円 給食リフト部品取替工事 1,674,200円 内線設置及び トイレ換気扇改修工事 5,258,000円 下水道接続工事 17,535,100円 職員室拡張工事 及び屋上排水改修工事 10,560,000円 階段手摺設置工事 374,000円 外部転落防止柵 (ガードレール)設置工事 1,219,900円 電話配線敷設工事 93,500円 パソコン室改修工事 1,298,000円 下水道接続工事(残箇所接続) 520,000円 【三根中学校】 昇降機改修工事 1,342,000円 美術室空調設備設置工事 6,215,000円 中学校計 63,236,500円			
事業の成果等	自己評価	各小・中学校施設については、児童生徒の安全と教育環境の充実を図ることを目的に、施設の状況に応じて改修工事や設備の更新を行っている。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	大規模改修等については予算も含め計画的に実施し、その他学校からの要望に応じて随時対応している。						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	理科教育設備整備事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	小学校費・中学校費		
事業費 (千円)	1,240	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				620			620
基本方針	重点目標	実験を通して、理科に対して興味・関心を高めるとともに、正確な知識を身に付けさせる。観察を通して、理科への正しい知識を身につける。					
	主要施策	理科の学習に関する教材の整備を行う。					
事業の内容等	学習指導要領において、小中学校の理科教育には、ますます、観察・実験が重視されている。観察・実験重視の視点から、理科教育環境整備に対する対応が重要である。そこで、設備器具（観察・実験器具）を整備する。補助金対象は、1つの器具に対し、小学校1万円以上、中学校2万円以上の場合で、購入額の2分の1の補助がある。						
事業の実績等	事業実施校： 中原小学校（生物顕微鏡、解剖顕微鏡、デジタル気体測定器、 てこの働き体験セット）801,000円 北茂安小学校（デジタル生物顕微鏡）164,500円 北茂安中学校（コンパクト電子てんびん（8））274,560円						
事業の成果等	自己評価	理科室の実験器具で、中原小学校では、顕微鏡等を整備した。てこの働き体験セットでは、実際にてこの原理を体験できるようになり、より理解が深まった。北茂安小学校ではデジタル生物顕微鏡を整備し、電子黒板に直接投影できるようになり、児童全員が顕微鏡の様子を電子黒板で見ることができるようになった。北茂安中学校では、電子てんびんが古くなって使えなくなっていたため、8組購入した。 授業では、電子黒板で実験の様子を見ることができ、実際に実験して自分の目で観察することによって、理解がしやすく知識の定着がしやすく学力の向上につながっている。 今後も、補助金を活用して町内小中学校で計画的に整備していく。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	外国語指導助手配置業務事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	30,492	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							30,492
基本方針	重点目標	町内児童、生徒の英語学力の向上を目指す					
	主要施策	英語圏外国人の指導にて、語学力向上と異国文化の知識習得を図る					
事業の内容等	町内小中学校に外国人指導助手（ALT）を配置して、中学校における外国語授業での日本人教諭のアシスタント及び小学校における外国語授業での指導を行い、子ども達の外国語によるコミュニケーション能力の育成を行うとともに、国際理解を図る。（令和4年度からの3年契約の2年目。）						
事業の実績等	<p>令和2年度から小学校で外国語が必修化され、3・4年生は「外国語活動」年間35時間、5・6年生は教科としての「外国語」を70時間実施した。そのため、ALTを6人配置した。</p> <p>中原小 : ベティ先生 ケニア籍女性 北茂安小 : ロージャー先生 アメリカ籍男性 三根東・西小 : ラチャーナ先生 ネパール籍女性 中原中 : エイドリアン先生 イギリス籍男性 北茂安中 : ジェラルディン先生 オーストラリア籍女性 三根中 : メイソン先生 アメリカ籍男性</p> <p>ALT主催の「イングリッシュデイ」をこすもす館で実施し、参加者と遊びを通して英会話を楽しんだ。</p>						
事業の成果等	自己評価	各学校へ配置されたALTが、児童生徒と積極的に接し、英会話を楽しむことで、英語に身近に触れる環境や、コミュニケーション能力の向上につながっている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	<p>また、教職員と連携を取り、児童生徒の理解促進が図られ、教材作成等の業務も行うため、結果的に教職員の負担軽減につながっている。</p> <p>英会話や異文化に親しむことを目的としたALT主催の「イングリッシュデイ」を夏と冬の2回開催。小学生を対象とした冬の回では風船雪だるまの工作に取り組み、手順について積極的に英語で質問する児童の姿が見られた。</p>					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	夢の教室事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	1,287	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,287
基本方針	重点目標	夢を持つことの大切さ、夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む					
	主要施策	子どもが夢を持ち続けることができる教育の充実					
事業の内容等	<p>様々な競技の現役選手/OB/OGなどを「夢先生」として学校へ派遣し、「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などを子どもたちへ伝える。</p>						
事業の実績等	<p>【実施校（クラス数）及び対象学年】 中原小学校（2）・北茂安小学校（3）・三根東小学校（1）・三根西小学校（1） 6年生全員を対象（7クラス）</p> <p>【派遣講師】 日本公益財団法人 日本サッカー協会 夢先生：元女子サッカー日本代表 海堀 あゆみ氏、元サッカー選手 大久保 哲哉氏、 元プロボクサー選手 越本 隆志氏、タッチラグビー選手 倉石 佳奈氏</p> <p>【内容】 ○前半30分「ゲームの時間」 ・体育館で、チームワークゲームを行う。子どもたちと一緒に体を動かすゲームを行い、チームが1つの目標に向かって協力していくことの難しさや面白さを学ぶ機会となった。 ○後半50分「トークの時間」 ・夢先生の夢トーク：夢先生が「夢曲線」という自身の実体験を黒板に描きながら、困難を乗り越えて夢に挑戦した体験を話し、夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向けて努力することの大切さを伝えた。 ・夢シートの記入後、子どもたちの夢発表</p>						
事業の成果等	自己評価	「夢の教室」を通して、夢に向かう過程や挫折したときの経験など、様々な競技のトップアスリートの実体験を直接聞くことで、夢や目標について考えさせる場面として、非常に良い機会になっている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	実施後のアンケートでは、「夢先生の話聞いて、自分も努力を続けていきたい」と答える児童が多かった。夢がまだ見つからない児童でも、夢について前向きに考える姿が増えた。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	スクリーニングシステム事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	1,262	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,262
基本方針	重点目標	児童生徒の諸問題の解決にあたり、一人の子どもも取りこぼさない					
	主要施策	個々の児童生徒の課題を早期発見するとともに、教職員間でその情報を共有する仕組みの構築。					
事業の内容等	<p>スクリーニングとは、全員の子どもたちを確認していくことで、リスクの可能性のある子どもを洗い出し適切な対応を簡単に行えるようにする。</p> <p>各学校で、各学期（年3回）システムに入力し、チーム会議を実施し、生活困窮、不登校、児童虐待、家族介護など支援を要する児童生徒の状況把握及び支援の方向性を検討することで子どもたちの最善の利益の実現を目指す。また、新規不登校の未然防止につながる。</p>						
事業の実績等	<p>令和4年度に中原小学校と中原中学校をモデル校として導入したクラウド版「AIを活用したスクリーニングシステム」を、令和5年度は全校に導入した。児童生徒の実態把握のため、システムに客観的にデータを入力することによって課題を抱えている児童生徒に対して学校全体でチームとして支援することができる仕組みづくりを構築した。システム開発した大阪公立大学山野則子研究室が提案した「YOSS (Yamano-Osaka-Screening-System)」を利用。</p> <p>（設定委託料 726,000 円、利用料 396,000 円、活用支援委託料 140,140 円）</p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭、SSW や SC など違った視点を入れる ・簡単な対応方法を得る＝教師の力量アップ ・校内のどこでどう判断していくのか、個人でない判断ができ、ルール、判断の流れが明確になる。 ・地域資源（居場所や子ども食堂等）活用の正しい理解になる＝教師を救う 						
事業の成果等	自己評価	各学校 7 校へ出向き、システムの利用方法、スクリーニング会議、チーム会議の説明会を実施した。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	各学校で入力をしてスクリーニング会議で、チーム会議の対象者を確認したとき、担任はあまり気にしていない児童生徒でもシステムではチーム会議の対象者になる、という結果が出て、個人の判断ではない気づかない結果が出て新たな視点で児童生徒へ対応することにつながった。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	教育委員会活動事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	委員会費		
事業費 (千円)	971	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							971
基本方針	重点目標	教育の基本方針の総合的施策の推進					
	主要施策	教育の基本方針の教育行政の推進					
事業の内容等	教育委員会の活動状況や会議運営状況等						
事業の実績等	<p>〈主な学校行事参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校入学式（4 / 1 2）・中学校入学式（4 / 1 1）・・・教育委員分散しての参加 ○ 学校訪問（年間通して、小中学校7校の訪問）・・・教育委員分散しての参加 ○ 運動会・体育大会への参加・・・教育委員分散しての参加 ○ 文化発表会・・・教育委員分散しての参加 ○ 青少年主張会・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 ○ 小学校卒業式（3 / 1 5）・中学校卒業式（3 / 8）・・・教育委員分散しての参加 <p>〈主な会議参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員会定例会（年11回）・教育委員会臨時会（0回） ○ 三神地区教育委員会連絡協議会、佐賀県市町教育委員会連合会総会及び研修会、九州地区市町村教育委員会連合会研修会（8 / 3：佐賀市で開催） 						
事業の成果等	自己評価	教育委員会定例会を月1回開催している。各種委員の任命や準要保護児童生徒の認定などを協議した。					
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	令和5年度は、8月に令和6年度以降使用小学校教科用図書の新採択について協議した。また、制度改正に伴う例規改正なども議論した。学校訪問では、時間を短縮して午前中みのスケジュールで実施した。 定例教育委員会の開催については、ホームページに開催日時及び会議録抜粋を掲載した。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	特別支援教育支援員配置事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当							
				費目		事務局費								
事業費 (千円)	28,340		財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源						
									28,340					
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進												
	主要施策	特別支援教育の一層の充実												
事業の内容等	特別支援学級に在籍している児童生徒及びそれに準ずる児童生徒に対して、学校教育活動上の日常生活や学習活動上のサポートを行う。													
事業の実績等	○特別支援学級入級者の状況（R5.5.1現在）													
	小学校 27学級：147人 中学校 10学級：38人 合計 185人											(単位：人)		
	学校名	知的	情緒	肢体不自由	難聴	病弱	通級	学校名	知的	情緒	肢体不自由	難聴	病弱	通級
	中原小	17	38	0	0	1	1	中原中	2	6	0	0	1	0
	北茂安小	21	33	1	0	2	24	北茂安中	4	14	0	0	2	0
	三根東小	7	10	0	0	0	0	三根中	3	6	0	0	0	0
	三根西小	2	14	0	0	1	0	中学校計	9	26	0	0	3	0
小学校計	47	95	1	0	4	25	合計	56	121	1	0	7	25	
○学校生活支援員（特別支援教育支援員）の配置状況														
・ 中原小 9人、北茂安小 8人、三根東小 2人、三根西小 3人、北茂安中 1人の計 23人を配置した。														
○学校生活支援員の報酬 24,244,266円、期末手当 3,254,623円、費用弁償（通勤手当分）840,640円を支出した。														
事業の成果等	自己評価	特別支援学級への入級者は年々増加しており、入級者は前年度と比較して26人増加した。支援員の各校への配置は学級数などを考慮し、小学校が中学校よりも入級者数が増加していることから昨年度と比較して、小学校に5人増で配置した。												
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	人員の確保が課題であり、ハローワーク登録を活用し、年間を通じて欠員がないように努めた。												
評価委員	評価結果	意見・指摘事項												
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。												
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等													

事業名	スクール・サポート・スタッフ事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	4,688	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				1,642			3,046
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	教職員の働き方改革					
事業の内容等	教員の専門性を必要としない業務に従事させることにより、学校教育活動の一層の充実及び学校の働き方改革の推進を図ることを目的としている。						
事業の実績等	<p>○令和3年度からの事業</p> <p>スクール・サポート・スタッフの主な業務内容は、授業準備補助（学習プリント等の印刷、配布準備等）、に従事</p> <p>1日3.5時間勤務に従事</p> <p>各小中学校に1名ずつ配置を行った。</p> <p>○スクール・サポート・スタッフの報酬4,463,116円、費用弁償（通勤手当分）225,151円を支出した。</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>各学校長から「印刷や学習プリントの準備、課題の丸付けなどしてもらい、大変助かっている」との高評価を得ており、継続的に配置し、さらに増員して教職員の負担軽減につなげていきたい。</p> <p>今後は、文部科学省が推進している、平成31年の中央教育審議会答申で示されたいわゆる「学校・教師が担う業務に係る3分類」に基づき、授業準備、学習評価や成績処理なども業務として取り入れていく。</p>					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成 やや不十分 不十分</p>	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	スクールカウンセラー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	2,521	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				845			1,676
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進					
事業の内容等	教育相談に関して、専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、小学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。中学校の事業費については、県の事業となる。						
事業の実績等	<p>【相談内容】 小学校においては、児童では家庭環境、教職員でも家庭環境や発達障害等、保護者でも家庭環境や発達障害等に係る相談が多かった。中学校においても、家庭環境に係る相談が多く、新型コロナウイルスの影響もあった。 （小学校合計：486h+5h：中小:135h、北小:135h、三東小:108h、三西小:108h +5h）－町費－ （中学校合計：240h：中原中：60h、北中：120h、三根中：60h）－県の事業－</p>						
	<p>【相談件数】 小学校 合計 278 件（児童 128 件 教職員 24 件 保護者 126 件 他 0 件）－町費－ 中学校 合計 169 件（生徒 62 件 教職員 41 件 保護者 66 件 他 0 件）－県の事業－</p> <p>【その他取組み】 各小中学校において、教員及び保護者に対し、カウンセラーによる研修会を年1～3回行った。 ○スクールカウンセラー2名の報償費 2,455,000 円、費用弁償（通勤手当分） 65,601 円を支出した。</p>						
事業の成果等	自己評価	学校における教育相談においては、悩みや心配事がある児童生徒や保護者及び教職員の個々の相談案件への個別対応により、学校・家庭教育などの問題の解決をサポートし、きめ細かな対応が出来るように努めている。また、カウンセリング以外にも、児童生徒に対して引き続き、ネットいじめの対処法などの授業も実施し、問題の未然防止を図っている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	学校から、緊急的にカウンセリングが必要なケースがあり、県補助金の配分時間とは別に 5 時間実施した。また、学校からの配置時間増加の要望もあるため、配置時間数を増加するよう引き続き県に要望していきたい。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	県に対して、配置時間の増加を望む。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	スクールカウンセラーの専門的知見は、学校にとって必要不可欠であり、配置時間の増加の要望を引き続き行っていきます。						

事業名	スクールソーシャルワーカー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当					
				費目	事務局費							
事業費 (千円)	443	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源					
							443					
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進										
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進										
事業の内容等	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う。											
事業の実績等	○スクールソーシャルワーカー（SSW）事業は県の事業であり、今年度は下記のとおり配置となった。報償費と費用弁償を支出している。 ・派遣人数 1人 配当時間 520時間（520時間を超えた分が町の負担となる）											
	SSW 実績 520時間（県負担）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	26h	61h	55h	52h	64h	74h	55h	53h	56h	24h	0h	0h
	町負担 131時間 3,000円/時間 ○報償費 393,000円、費用弁償 49,580円											
	1月	2月	3月									
	14h	67h	50h									
事業の成果等	自己評価	不登校やいじめの他にも家庭内暴力やネグレクト等問題のある家庭で生活する児童生徒がおり、その問題も複雑化している。関係機関と連携して、福祉的な方法で対処していかなければならない事案が多くなっており、社会福祉等の専門的な知識や経験をもっているSSWの配置が不可欠である。 成果としては、連絡がつかないひとり親家庭の保護者にSSWが根気よく自宅に通って、就学援助の手続きにつながったケースがあった。また、児童が診断を受けるときに病院まで随行するなど、きめ細やかな対応で、関係機関とつなぐ役割を果たしている。 同時多発的な事案にも迅速に対応できるように、SSWの複数名の配置を県に要望していきたい。										
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分											
評価委員	評価結果	意見・指摘事項										
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。										
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等											

事業名	学力向上支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	10,278	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							10,278
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	中学校に教諭補助員を配置し、生徒の学力向上及び生徒指導を行う。また、不登校対策として、教育委員会事務局で不登校児童・生徒への個別支援を行う。						
事業の実績等	○配置状況 ・町の直接任用（各中学校に教諭補助を2人ずつ、事務局内に不登校対策支援員を1人、計7人の配置） ・中原中2人（理科・数学社会）、北茂安中2人（理科数学・英語）、三根中2人（国語・理科） ○実績 ・担当教科などでTTを実施し、T2の役割を担うことで学習支援を行った。 ・支援を要する生徒に対し、学校教育活動上の日常生活や学習活動上のサポートを行った。 ・不登校児童生徒対策として、教育委員会に「フリースクール」を設置し、不登校児童・生徒の受け入れを行い、個別指導を通じて、通学者の学校・社会への適応力の醸成を図った。 ○教諭補助6名の報酬7,271,131円、期末手当925,773円、費用弁償（通勤手当分）191,404円を支出した。 ○不登校対策支援員1名の報酬1,668,607円、期末手当174,604円、費用弁償（通勤手当分）46,400円を支出した。						
事業の成果等	自己評価	教諭補助を各校2人配置し、学習支援を行うことで、個別の学習課題に応じた支援・対応ができています。また、教員の業務のサポートを行うことで、教職員の負担軽減につながっています。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	フリースクールは、不登校の児童生徒の居場所になっており、フリースクールに来る児童生徒数は増加傾向にあるが、学校に行くことができるようになっている児童生徒もおり、効果は表れている。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	ICT支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	11,501	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							11,501
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	授業における ICT 活用を円滑に進める環境づくりとして、教職員の ICT 活用を支援する。ICT 支援員を配置することによりサポート体制の充実を図る。						
事業の実績等	<p>○配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5人（中小に1人配置・北小に1人配置・三根西小と三根中に1人配置・三根東小と北中に1人配置、中中に1人配置） <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やタブレット端末の利活用の支援を行った。 ・タブレット端末の管理、児童生徒アカウントの管理を行った。 ・授業や研修の開始前に機器やソフトウェアを設定したり、授業中や研修中に操作したり、操作方法を説明するなどの指導を行った。 ・コロナ対策としてオンライン始業式などの設定、教職員のリモート会議の支援、プリンター操作など多岐にわたり教職員の支援を行った。 <p>○ICT 支援員 5名の報償費 9,734,674 円、期末手当 1,515,253 円、費用弁償（通勤手当分）250,876 円を支出した。</p>						
事業の成果等	自己評価	各学校への ICT 支援員の配置により、デジタル教科書などでの授業やリモート会議の際の機器設定など、教職員の ICT 活用を支援することができた。学習者用タブレットの設定などの支援も行っていて、各学校から、ICT を活用した授業展開に不可欠な存在だと意見が出ており、教職員のサポートにつながっている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小中学校費			
事業費 (千円)	11,311	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			23				11,288
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進					
事業の内容等	学校教育法第19条に基づく、経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する。						
事業の 実績等	【要保護児童生徒】						
	・小学校 4人 中学校 1人 計 5人						
	・修学旅行費（実費）のみの支給 支給総額 小学校 0円 中学校 47,039円						
	【準要保護児童生徒】						
	・小学校 78人 中学校 46人 計 124人						
	・認定者数は、ここ数年は減少傾向である。						
	R4年度	R3年度	R2年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度
	124人	121人	144人	139人	157人	165人	157人
	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度
	161人	155人	159人	159人	161人	150人	140人
	<ul style="list-style-type: none"> ・学用品費等、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費を支給。費目によっては、実費負担額支給をするが、限度額がある費目もある。 ・支給総額 小学校 5,110,724円 中学校 4,637,260円 ・次年度就学予定者の新入学児童生徒学用品費については、入学前支給を実施し入学時期の経済的負担軽減を図った。 新入学対象者25人（小学校 10人 570,600円 中学校 15人 945,000円） ・毎年、2月の町広報で申請のお知らせをしている。新1年生については、就学時健康診断時に、チラシを配付している。随時申請も受け付けている（扶助費は月割） 						
事業の 成果等	自己評価	準要保護児童生徒の認定者数については、ここ数年は横ばい傾向にあるが、小学校が増加している。 ホームページや広報などで制度の周知を図り、就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上につなげることができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評 価 委 員	評価結果	意 見 ・ 指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	育英資金貸付基金事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当				
				費目		事務局費					
事業費 (千円)	6,840	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源				
							6,840				
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備									
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進									
事業の内容等	育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高等学校または大学等に在学（進学）する者の中で、勉学等に意欲があり、経済的理由により学資の支弁が困難である者に対して修学上必要な資金として貸し付ける。										
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生等 月額40,000円以内 / 高校生等 月額20,000円以内 の貸付 ○ 貸付期間は当該学年から正規修業時まで 利率は無利子 ○ 基金及び貸付者等の状況（基金額：38,000,000円）（単位：千円，人） 										
		積立金	返済額	申請者		採用者		貸付者		貸付額	残額
				高校	大学	高校	大学	高校	大学		
	平成30年度	5,000	1,433	1	1	1	1	3	9	4,160	4,153
	令和元年度	3,000	2,066	0	4	0	4	3	12	6,040	3,179
	令和2年度	3,000	1,545	1	4	1	4	3	10	5,160	2,564
	令和3年度	5,000	1,779	1	5	1	5	2	13	6,720	2,623
	令和4年度	5,000	2,550	0	2	0	2	2	14	6,600	3,573
令和5年度	2,000	4,104	7	4	7	2	7	12	6,840	2,837	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成20年度より貸付を開始している。みやき町育英資金運用委員会（委員5人）にて、採用者の決定を行っている。令和5年度は5月23日に開催し、11名の応募があり大学生2人高校生7人の採用をした。 ○ 返済については、平成24年度より3人、25年度より1人、26年度より3人、27年度より3人、28年度より3人、30年度より3人、元年度より2人、2年度より6人、3年度より2人、4年度より3人、5年度より7人の償還が始まった。6年以内（27年度貸付者からは8年以内）で月賦又は年賦で返済する。16人は返済完了している。 											
事業の成果等	自己評価	令和5年度申請については、大学生4人、高校生7人の申請であった。選考においては育英資金運用委員会において、勉学意欲、学資の支弁が困難であるか、世帯の状況、その他総合的判断に基づき決定した。申請者においては、日本学生支援機構奨学金や他の育英資金貸付との兼ね合いを見ながら申請されている。募集については、町広報やホームページにおいて周知している。基金額状況としては返済が開始しても貸付の方が多いので、積立等をしながら基金を賄っている状況である。									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分										
評価委員	評価結果	意見・指摘事項									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等										

事業名	学校給食費補助事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
				費目		事務局費		
事業費 (千円)	98,784	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
						45,422	53,362	
基本方針	重点目標	子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、定住促進に寄与する。						
	主要施策	小中学校に在学する児童生徒のうち、第1子・第2子を半額補助、第3子以降を全額補助する。						
事業の内容等	<p>同一世帯で18歳に達する日以降の最初の4月までの間にある子供の数でカウントし、小中学校に在学する児童生徒の給食費を1人目と2人目は半額を、3人目以降は全額を補助している。平成30年度から当面の間、ふるさと寄附金利活用事業として1人目と2人目についても、半額の追加補助を実施することにより完全無償化を実施している。子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図り、もって定住促進に寄与することを目的とした事業。</p>							
事業の実績等	【学校別対象者数及び金額】							
	【一般会計】				【ふるさと寄附金】			
	中原小学校	437人	11,287,934円	中原小学校	414人	9,383,631円		
	北茂安小学校	629人	15,948,028円	北茂安小学校	572人	12,236,190円		
	三根東小学校	144人	3,790,148円	三根東小学校	134人	2,996,848円		
	三根西小学校	188人	4,823,828円	三根西小学校	172人	3,743,827円		
	中原中学校	162人	5,024,740円	中原中学校	162人	4,920,800円		
	北茂安中学校	220人	6,987,017円	北茂安中学校	222人	6,708,971円		
	三根中学校	156人	4,938,129円	三根中学校	152人	4,595,072円		
	町立外小学校	5人	127,468円	町立外小学校	9人	216,285円		
	町立外中学校	56人	326,073円	町立外中学校	59人	398,293円		
	R4精算分	12人	108,582円	R4精算分	17人	221,879円		
	(うち特例対応)	3人	87,800円	うち特例対応	3人	87,800円		
	合計	2,009人	53,361,947円	合計	1,913人	45,421,796円		
事業の成果等	自己評価	通常補助対象児童生徒 2,009人、ふるさと寄附金補助対象児童生徒 1,913人に学校給食費を全額補助することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、定住促進、子育て支援につなげた。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	令和5年度から物価高騰により給食1食単価を値上げした。小学生 245円から 265円に 20円増、中学生は 264円から 318円に 24円増した。 ※年額：小学1年生 (50,600円) 小学2年生～6年生 (51,600円) 中学生 (62,000円)						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	学校給食費の全額補助の継続を望む。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							
	学校給食費の全額補助を継続していけるように関係機関と協議していきます。							

事業名	義務教育施設整備事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	116,908	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			1,155				115,753
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進					
	主要施策	学校施設・設備の充実					
事業の内容等	町内小・中学校の施設整備により児童生徒の安全・学習環境の充実にを図る。						
事業の実績等	<p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校 ICT 機器・情報通信機器の保守業務 6,534 千円 ・電子黒板の学校間移動（3台）北小1台と中中2台を中小へ移動 116 千円 ・GIGA スクール運営支援センター設置 2,310 千円 うち、文科省の国庫補助金 1,155 千円 <p>○使用料及び賃借料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信機器サーバーの長期借り上げ（R3.2.1～R8.1.31） 32,748 千円 ・学習用タブレットの（フィルタリングソフト：i-FILTER） 2,300 千円 ・ソフトウェア（各種ライセンス） 3,090 千円 <p>○工事請負費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校電話留守番応答装置設置工事 645 千円 <p>○備品購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板及び電子黒板用 PC（10台） 12,980 千円 ・校務系 PC・学校図書館システム用 PC（各7台ずつ） 2,401 千円 ・指導者用 PC（50台） 6,683 千円 ・学習者用タブレット（33台） 3,321 千円 <p style="text-align: right;">小計 73,128 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校情報通信整備工事（無線 LAN 更新工事及び電子黒板（埋込式）14台更新工事） ※R4 年度予算繰越（ウクライナ情勢の影響等により部品の一部が納品できなかった） 43,780 千円 <p style="text-align: right;">合計 116,908 千円</p>						
事業の成果等	自己評価	GIGA スクール構想による学習者用タブレットの児童生徒1人1台が実現し、学校の無線 LAN や電子黒板を更新したことで、小中学校の ICT 学習環境がさらに整備され、ネットにつながらないということが改善された。また、GIGA スクール運営支援センターを設置したことで、教職員の ICT のお困り事象にタイムリーに対応することが可能となり、高評価となっている。勤務時間外の電話に対して小中学校に留守番応答装置を設置し、音声ガイドにより、教職員の時間外電話対応の減少につながった。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	学校給食センター事業			所管課	学校教育課	担当	学校給食担当																		
				費目	給食センター費																				
事業費 (千円)	70,923	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																		
							70,923																		
基本方針	重点目標	児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供																							
	主要施策	栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供																							
事業の内容等	小学校2校・中学校2校、一食あたり小学生265円・中学生318円で年間195回の給食を提供し、単独校3校に炊飯を提供する。																								
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食物アレルギーに対する除去食・代替食を提供した。(小学生 3人 中学生 2人) ○ 食の安全を徹底するために、調理員の衛生管理研修を実施した。(8月22日) ○ 安心・安全な給食提供のため、地元野菜の供給を推進した。 ○ 下記のとおり給食を提供した。また、中原小学校、北茂安小学校、北茂安中学校に炊飯を提供した。 ○ 施設・設備の老朽化に伴い、調理室照明器具LED取替及び雨漏り修繕を行い、コンビオープン・真空冷却器1台、フードプロセッサ1台を更新のため購入した。(9,905千円) ○ 一日あたりの提供食数 																								
	<p style="text-align: center;">【学校給食センター】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原中学校</td> <td>204食</td> </tr> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>168食</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>209食</td> </tr> <tr> <td>三根中学校</td> <td>194食</td> </tr> <tr> <td>給食センター</td> <td>17食</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>792食</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	提供数	中原中学校	204食	三根東小学校	168食	三根西小学校	209食	三根中学校	194食	給食センター	17食	計	792食	<p style="text-align: center;">【自校式】炊飯のみ</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>提供数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原小学校</td> <td>433食</td> </tr> <tr> <td>北茂安小学校</td> <td>661食</td> </tr> <tr> <td>北茂安中学校</td> <td>284食</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,378食</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	提供数	中原小学校	433食	北茂安小学校	661食	北茂安中学校	284食	計
学校名	提供数																								
中原中学校	204食																								
三根東小学校	168食																								
三根西小学校	209食																								
三根中学校	194食																								
給食センター	17食																								
計	792食																								
学校名	提供数																								
中原小学校	433食																								
北茂安小学校	661食																								
北茂安中学校	284食																								
計	1,378食																								
事業の成果等	自己評価	学校給食衛生管理基準を守り、施設と調理員等の衛生管理を徹底した。施設設備・厨房機器の定期的な点検を実施し、必要な補修、設備備品の入れ替えを行い、安全安心な学校給食の実施・運営ができた。																							
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分																								
評価委員	評価結果	意見・指摘事項																							
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																							
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																								

事業名	青少年健全育成事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	4,526	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							4,526
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実					
事業の内容等	青少年健全育成指導員や青少年育成町民会議と連携し、地域での青少年育成や青少年サポート隊活動による子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組む。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成指導員を各地区1名の計57名に委嘱し、校区ごとに年6回指導員会議を開催し、各地区で青少年を対象に実施される体験活動の状況や事件・事故などの事案発生に対する情報共有、注意喚起や懸案事項についての意見交換等を行った。会議には交番・駐在所や主任児童委員、少年補導員、小中学校、PTA等の参加を得て、青少年健全育成のための連携体制の強化や共通認識を図ることができた。 ・青少年育成町民会議と連携し、青少年を対象に地区で取り組む体験活動やふれあい交流活動に対して助成を行う「青少年育成地区活動補助事業」を実施した。(上限15,000円 34地区助成) ・青少年健全育成に関する啓発事業として、小中学生が日頃感じていることや将来の夢等を文集として発行し、各世帯に配布することで住民に対する広報、啓発を図った。 ・青少年サポート隊による登下校時の立番や防犯パトロールを実施した。また、地区での青少年サポート隊の活動に対して補助金を交付した。(上限25,000円 44地区助成) ・新型コロナウイルス等の感染症の影響により、青少年サポート隊地区隊長を対象に例年実施している先進地視察は中止とした。 						
事業の成果等	自己評価	昨年度よりも多くの地区で子ども達の体験活動やふれあい活動が実施され、世代間交流の推進及び地域の子どもは地域で育てる意識の高揚を図ることができた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	また、サポート隊の隊長会議において、鳥栖警察署から交通ルール等の講演をいただき、サポート隊の活動補助金を交付することで活動の幅が広がるとともに、継続的な活動により登下校時の交通事故や子どもたちが巻き込まれる犯罪事案の未然防止につなげることができた。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	まちづくりいきいき女性クラブ 事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	3,096	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							3,096
基本方針	重点目標	地域住民の交流及び親睦と連携の強化					
	主要施策	女性活動・町民協働支援の推進					
事業の内容等	<p>地域が一体となり共に支えあう福祉社会の形成及び女性の視点に立った魅力ある住みよいまちづくりの実現を図るため、各行政区に、まちづくりいきいき女性クラブ地区推進員を置き、その活動に対して助成金を交付する。</p>						
事業の実績等	<p>○令和5年度地区推進員登録状況 41地区 45名登録（400世帯を超える行政区は、1名増員可） ・中原校区 12地区 15名 ・北茂安校区 15地区 16名 ・三根校区 14地区 14名</p> <p>○活動内容 ・交流事業 茶話会 書初め会 ミニバレーボール ひなまつり もちつき会 等 ・各種教室 そば打ち ゴキブリ団子作り 手芸 調味料作り 寄せ植え 小物作り しめ縄作り 等 ・奉仕活動 地区内の清掃 花壇の花植え お地藏様の前掛け作り 等 ・研修 バスハイク 出前講座 講習会（栄養教室） 等 ・地区行事サポート ほんげんぎょう 資源回収 敬老会 等</p>						
事業の成果等	自己評価	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、感染対策を講じながら推進員を中心に交流活動や研修会、奉仕活動等が行われた。地区によっては地区住民の親睦を深めるためのバスハイクを実施したところもあった。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	行事等の円滑な実施により、本事業の目的である地区住民の親睦と連携の強化及び地域活性化が図られたことで事業目標が達成できたと考える。 町全域 57地区の内、設置地区数は昨年度より2地区減の41地区である。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	まちづくりいきいき女性クラブの更なる活動の活性化に向け、活動内容について区長会等で話し合いを望む。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	今後、若いお母さんたちなども活動に参加されるよう提案し、更なる地区のコミュニケーションの場となるように区長会等でも説明していきます。						

事業名	放課後子ども教室事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	405	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				268			137
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	<p>校区ごとに、スポーツ、手芸、英会話等の教室を実施し、多様な体験活動の機会を充実させ、子どもたちの心豊かな成長を育むことを図る。さらに、地域住民の参画を得ることにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進する。</p>						
事業の実績等	<p>○4月～翌年2月にかけて、全15回、土曜日の午前中に、中原風っ子元気スクール、茂安っ子いきいきスクール、三根わくわくスクールを各校区において実施した。また、夏休み期間中も、各校区において夏休み子ども教室を実施し多くの子どもたちが参加した。</p> <p>○教室内容：スポーツ、手芸、英語、木工、ハンドベル、遊んじゃ王（昔遊びや体験活動等）等</p>						
	放課後子ども教室名		土曜子ども教室 開催回数	延べ 参加者	夏休み子ども教室 開催回数	延べ 参加者	
	中原風っ子元気スクール		5回	266名	4回	70名	
	茂安っ子いきいきスクール		5回	121名	4回	107名	
	三根わくわくスクール		5回	33名	4回	39名	
	計		15回	420名	12回	216名	
事業の成果等	自己評価	新型コロナウイルスの5類引下げ後初めての子ども教室事業であったため、飲食を伴わない教室のみの開催にするなど一部制限を設けることはあったが、制限の範囲内で子ども達に安全で健やかな居場所を提供することができた。活動の中では高学年と低学年の児童の交流も図られ、日頃学校では体験できない様々な活動を通じて子ども達の健やかな育成の一助とすることができた。					
	達成 <u>おおむね達成</u> やや不十分 不十分	<p>また、地域の方に指導者として参加していただくことで地域の大人との交流も深まり、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進することができた。</p>					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 <u>達成</u> おおむね達成 やや不十分 不十分	三根校区における参加者の更なる増加を望む。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	北茂安校区と三根校区の合同でこすもす館で開催していることで開催場所が遠いなども三根校区の参加率の伸び悩みに影響している部分があるので、開催方法について再度見直し、事業内容の周知方法についての有効策を検討していきます。						

事業名	生涯学習事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目		公民館費	
事業費 (千円)	624	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							624
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と高齢者の生きがいづくり					
	主要施策	生涯学習の環境づくり					
事業の内容等	住民の多様化する学習ニーズに対応して、各種教養講座や教室を実施し、住民の教養の向上、健康増進並びに高齢者の生きがいづくりを推進する。						
事業の実績等	各会場における公民館事業の実施状況						
	会場	事業の種類			回数	延べ参加者数（人）	
	中原会場	みやき塾（中原編）、風カレッジ、パソコン講座			28回	370	
	北茂安会場	みやき塾（北茂安編）、パソコン教室（エクセル初級・中級）、スマートフォン体験教室、パッチワーク教室、ゆるヨガ教室、生きがい講座（北茂安分）			20回	281	
	三根会場	みやき塾（三根編）、生きがい講座（三根分）			5回	60	
	計				53回	711	
事業の成果等	自己評価	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、感染対策を講じながら、各種講座・教室を開催し、生涯学習の情報提供、環境づくりに努めた。参加者の大半は高齢者であり、そのニーズに対応する講座を多数実施することで、高齢者が生涯を健康で生きがいを持って生活できるよう支援することができた。また、講座ごとにアンケートを実施し、参加者の満足度と学習ニーズの把握に努めた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	例年開催している「みやき塾」は9回のうち6回は民間保険会社と連携して実施し、「栄養と健康維持」「介護保険」「フレイル予防について」等をテーマに保険会社に蓄積されたデータや統計を活用して講座を展開し、実施後のアンケートでも満足度の高い結果となった。他3回についてはコンサートや人権講話を行った。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	図書館事業			所管課	社会教育課	担当	図書館担当
				費目		図書館費	
事業費 (千円)	19,391	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						1,000	18,391
基本方針	重点目標	社会教育の振興、歴史や文化の情報発信					
	主要施策	生涯学習施設としての機能を果たす図書館づくり					
事業の内容等	赤ちゃんから高齢者まで、町民だれもが楽しめ笑顔になれる、バリアフリーな図書館を目指し、読書活動を通じて町民の輪が広がる図書館づくりを行う。						
事業の実績等	○ 蔵書構成						
		一般書	児童書	AV資料	雑誌	合計	
	令和5年度末	62,275	32,227	1,913	3,670	100,085	
	内5年度受入分	(2,233)	(1,516)	(91)	(429)	(4,269)	
事業の実績等	○ 貸出実績						
		開館日数	館外貸出人員	館外貸出冊数	1日平均貸出冊数		
	町立図書館	277日	21,541人	121,916点	440点		
	こすもす館	219日	2,442人	9,952点	45.4点		
	改善センタ	192日	743人	2,493点	13.0点		
事業の成果等	○ リクエスト、レファレンスサービス						
	・ リクエスト 予約件数 3,771件 ※ ・ レファレンス 563件（読書相談、調べものに対応）						
事業の成果等	※貸出中資料については予約処理、未所蔵資料については購入及び県内図書館より借受で対応						
	○ 未就学児を対象としたおはなし会「UP（アップ）」を改善センター内玄関スペースで立ち上げました。未就学児の利用と、毎月、三根校区内のこども園からバスに乗っておはなし会に参加されており、毎月賑わっています。						
事業の成果等	○ 町立図書館内（旧・対面朗読室）に、バリアフリースペース「落ち着きの間」を設置しました。拡大読書器やバリアフリー絵本を使った読書など、ファミリー・高齢者・障害者に配慮したフリースペースです。囲碁・将棋での利用、放課後デイサービスの方の読書での利用など、日々多くの方にご利用いただいています。						
	自己評価	図書館での読書イベントや、月替わりの特集・展示コーナーを継続して行うことで、「図書館で読みたい本が見つかる」ことに繋がった。また、図書館に通えない中・高校生世代には、学校図書室で本の紹介ができるよう定期的に本を届けるなど、町内の事業所・学校・団体などにも積極的に配達を行い、多くの世代に「あたらしい本との出会い」を提案してきた。これらをコツコツと継続的に続けた結果が、過去最高の館外貸出冊数の更新につながった。					
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	文化財保護事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	文化財保護費		
事業費 (千円)	26,878	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			4,613	1,845		5,618	14,802
基本方針	重点目標	開発と埋蔵文化財の調整及び保護、史跡維持管理、その他業務の推進					
	主要施策	開発把握の徹底、史跡の活用、文化財の啓発活動の推進					
事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発を事前に把握し埋蔵文化財の有無を確認する確認調査事業 ・ 確認調査の結果検出された重要な遺跡について、より詳細に内容を把握し、遺跡の記録保存を図るための本調査事業 ・ 県・町指定史跡の維持管理事業 ・ 文化財の啓発活動事業など 						
事業の実績等	<p>○ 令和5年度文化財保護法第93・94条第1項による開発届出処理件数：96件 確認調査実績件数：49件(49件中、13件で遺跡を確認し、2件で本調査を実施した。その他は設計変更等により遺跡が保存された。令和4年度に実施した確認調査の整理作業及び報告書作成を実施した。</p> <p>○ 西尾城跡2区の整理作業及び報告書作成を実施した。</p> <p>○ 町指定史跡である中津隈前方後円墳について、トレンチ調査と地形測量を実施し、弥生時代～古墳時代及び中世の遺構、遺物を確認した。</p> <p>○ 本調査実施（町単独・受託事業） 大塚遺跡3区、拾徳遺跡5区、西尾城跡1区において本調査を実施した。 西尾城跡1区について整理作業を実施し、原古賀六本黒木遺跡4区、一の幡遺跡2区、東尾遺跡については整理作業及び報告書を作成した。</p> <p>○ 県指定史跡4ヶ所、町指定史跡2ヶ所の維持管理業務を実施した。</p>						
事業の成果等	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開発に伴う確認調査を実施することにより、埋蔵文化財保護と開発との調整を図ることができた。 ○ 本調査においてみやき町の歴史を知るうえで重要な成果を上げることができた。 ○ 史跡維持管理事業では、除草作業を行い、景観美化に努めるとともに、見学者の利便性を高めることができた。 ○ 啓発活動の歴史講座については、郷土の文化財や佐賀県の歴史について理解を深めていただき、地域活性化の一助となるよう努めることができた。 					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	社会教育施設整備事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	総務管理費		
事業費 (千円)	4,070	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
					4,000		70
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	社会教育施設・設備の充実					
事業の内容等	生涯学習の拠点となる社会教育施設・設備の整備・改修工事等を行い、施設利用における利便性の向上と施設の長寿命化を図る。						
事業の実績等	<p>○農村環境改善センター玄関ホールエアコン設置工事</p> <p>事業費 4,070 千円</p> <p>事業内容 指定避難所に指定されている改善センターの玄関ホールにエアコンがないため新たに設置し、夏場の猛暑や冬場の寒さに備え、避難者に体調不良者が出ないように環境整備を行った。</p>						
事業の成果等	自己評価	施設利用に影響が出ないよう調整し、計画どおりに実施できた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	令和6年度 SAGA2024 国民スポーツ大会事業		所管課	社会教育課	担当	国スポ・社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	18,000	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				3,001			14,999
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成を目指す町民総スポーツの振興					
	主要施策	競技スポーツの振興					
事業の内容等	令和6年度に開催される SAGA2024 国民スポーツ大会のリハーサル大会の運営、開催準備等を行う会議の開催、関係機関及び競技団体との連絡調整、先催県の視察等。						
事業の実績等	<p>○リハーサル大会の開催</p> <p>国スポのリハーサル大会として、9月に第75回全日本総合女子ソフトボール選手権大会、2月に第34回全九州選抜高等学校バレーボール大会を開催し、本番に向けての予行演習、問題点の洗い出し等を行うことができた。</p> <p>○SAGA2024 みやき町実行委員会</p> <p>第3回総会 令和5年5月18日</p> <p>第2回医療衛生専門委員会 令和5年8月25日</p> <p>第2回総務競技専門委員会 令和5年11月22日</p> <p>○啓発活動</p> <p>みやき町の各庁舎及び各施設の国スポ PR ブースで、パンフレット及び PR グッズ等を配布して機運醸成を図ったほか、開催日程等を伝えるのぼり旗の設置、みやき町ホームページ、みやき町の広報誌及びみやき町教育委員会だよりにて随時情報発信を行った。</p> <p>○バレーボール及びソフトボールの共催市町及び競技関係団体等との会議及び連絡調整</p> <p>○先催県の準備状況等の調査、本大会の視察及び本大会後の事業報告会への出席</p> <p>鹿児島国体の視察を行ったほか、大会後の事業報告会に出席し、注意点等を学んだ。</p>						
事業の成果等	自己評価	令和6年度に開催される SAGA2024 国民スポーツ大会を成功させるべく、ソフトボール及びバレーボールのリハーサル大会を行い、大会運営及び問題点の洗い出し等を行うことができた。また、鹿児島国体の大会運営及び事業報告会等に参加し、本大会の様子、大会を開催するうえでの注意点、問題への対処方法、ノウハウ等を学ぶことができた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	各種スポーツ大会等開催事業			所管課	社会教育課	担当	国スポ・社会体育担当
				費目	保健体育費		
事業費 (千円)	76	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							76
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域間スポーツの振興と明るく豊かな町づくりを目指す。						
事業の実績等	<p>○6月 分館対抗女子ミニバレーボール町決勝大会 13分館157名が参加し、北茂安体育館及び三根体育館で開催した。 優勝：原古賀 2位：箕原・山田</p> <p>○10月 町民体育大会（各校区） 国民スポーツ大会開催準備のため中止。</p> <p>○11月 クラブ対抗女子ミニバレーボールリーグ戦 Aクラスは5チームが参加し、中原体育館で5日間開催。優勝：ビクトリー。 Bクラスは4チームが参加し、北茂安体育館で3日間開催。優勝：QT 東尾。</p> <p>○11月 分館対抗男子アジャタ(スポーツ玉入れ)大会 14分館129名が参加し、三根体育館で開催。 優勝：白壁 2位：西分</p> <p>○3月 ニュースポーツ教室 こすもす館で開催し、約50人が参加した。</p>						
事業の成果等	自己評価	新型コロナウイルス感染拡大防止による開催自粛がここ数年続いていたが、ようやく計画どおりに開催することができた。ただし、町民体育大会については、令和6年度に国民スポーツ大会が佐賀で開催されるため、開催準備のため中止とした。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	社会体育施設整備事業			所管課	社会教育課	担当	国スポ・社会体育担当
				費目	保健体育費		
事業費 (千円)	6,919	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				208			6,711
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成を目指す町民総スポーツの振興					
	主要施策	各公共運動施設の維持管理					
事業の内容等	落雷により故障した中原体育館の自動火災報知設備の取替、省エネと水銀灯の生産中止による北茂安運動場ナイター照明のLED化及び中原公園街路灯のLED化、中原総合センター・北茂安・三根の各体育施設の施設内案内看板の改修を行い、体育施設の機能向上・維持を図った。						
事業の実績等	<p>○中原体育館自動火災報知設備等取替工事 事業費 1,023千円 落雷により故障した自動火災報知設備の取替を行った。</p> <p>○中原総合センター案内看板改修工事 事業費 251千円 施設紹介の看板が老朽化して見えにくくなっていたため、改修した。</p> <p>○北茂安運動場ナイター照明LED化工事 事業費 3,355千円 水銀灯の生産中止により計画的にLED化を図っている。</p> <p>○三根運動場西側歩道転落防止柵設置工事 事業費 836千円 西側歩道の転落防止柵が老朽化により破損したため、設置工事を行った。</p> <p>○三根・北茂安体育施設案内看板改修工事 事業費 167千円 施設紹介の看板が老朽化して見えにくくなっていたため、改修した。</p> <p>○中原公園街路灯LED化工事 事業費 1,287千円 公園内街路灯の電球が切れているうえ、水銀灯の生産が中止となったことから、これを機に全灯をLED化し、省エネと防犯効果を高めた。</p>						
事業の成果等	自己評価	計画どおりに完了した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	意見・指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						